

憲照先生の手本ア・ラ・カルト
(à la carte)
(24)

締切り 十二月十九日 (必着)

昭和55年5月

し	命	私
た	ぜ	は
だ	ら	
け	れ	神
で	た	に
す	こ	
	と	
	を	

つけペン・墨汁使用

〔解説〕

私
は
神

に
命
ぜ

ら
れ
け

※楷書は縦線を慎重に

◎本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。まだまだ世の中は、新型コロナウイルス禍の影響で、

世界中が不安の中にいます。

しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★私は… (書体Ⅱ楷書)

ナイチンゲール(一八二〇～一九一〇・イギリス、博愛者)のことば。彼女はクリミア戦争起こるや、近東の戦場に赴き、多くの傷病兵を看護してめざましい活躍をした。戦いすんで英国に帰ると、女王はじめ各界の人々から、その献身的活動を賞讃されたが、それに答えた言葉がこれ。しかも表彰金をもって後年の赤十字社の起因となる、世界最初の看護婦学校を創設。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会級位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様にお願いします。

一般部規定課題

締切り 12月19日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

不得服 重要修練

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

重要修練である
征服することは
不得意なものを

新井龍峰書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

教育は母膝に始

	母	教
	の	育
	膝	は
	に	
バ	始	
口	ま	
ー	る	

古田瑞苑書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

★教育は：(書体Ⅱ行書)

バロー(一七六四～一八四八)
イギリスの地理学者

教育は生まれた直後から、大部分は母の膝の上で始まる。多くの学者によると、その幼年時代、小学校に上がる前までに耳にするすべての言葉によって、その基礎的な性格がつくられ、物の見方、感じ方、考え方の基礎も形づくられてゆく。その耳にする言葉のうち、最も大きな影響力を持つものは、大部分の場合、母親の言葉である。賢母を持った子は幸せである。

◆1月課題予告(楷書)

力よりも
優しさの方が
効きめがある

★不得意な：(書体Ⅱ楷書)

グラッドストン(一八〇九～一八九八)
イギリスの名政治家

グラッドストンは数学が大嫌いで、いつも落第点しかとれず、父に数学のない学校があつたら転校させてほしいと手紙を書いた。父は返事に「不得意なものを征服することは、将来出あうかもしれない、より大きな困難を征服する力を養うために、最も重要な修練である」と言い、やってみようと決意した彼は首相の印綬を帯びるまでに

◆1月課題予告(行書)

容赦は
勝利の最も神聖な
ものである

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

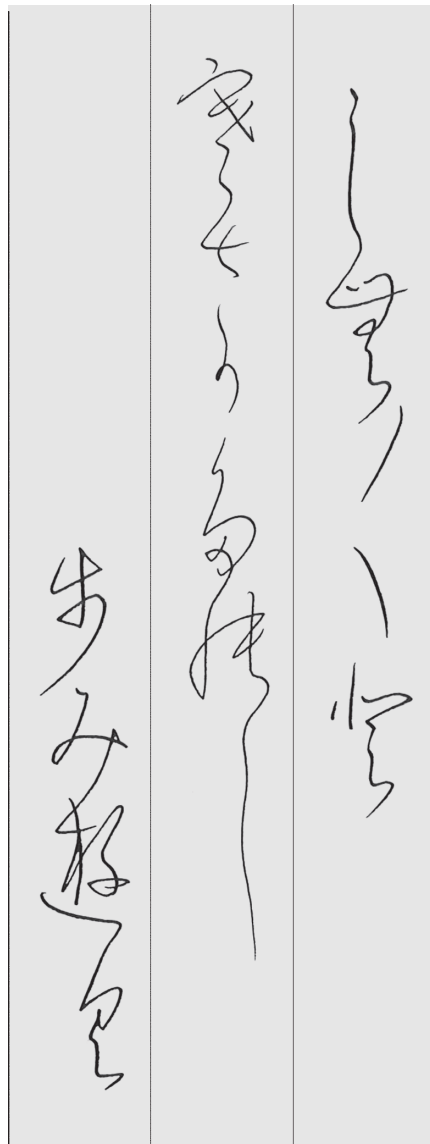
一般部かな課題

締切り 12月19日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

しんしんと寒さがたのしみゆく
無、登、可多能遊具

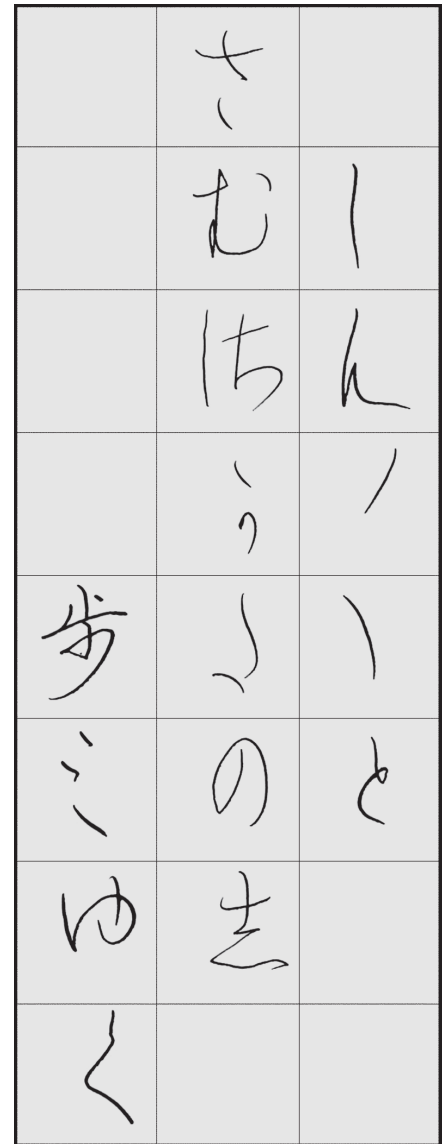


たなかきこう 田中貴光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

しんしんと寒さがたのしみゆく
しん、さむ佐可多志三



たなかきこう 田中貴光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告

福寿草家族のごとくかたまれり

(福田蓼汀)

【解説】「ん」は「无」が元の漢字なので、最後のはらいは、右横へ流す。

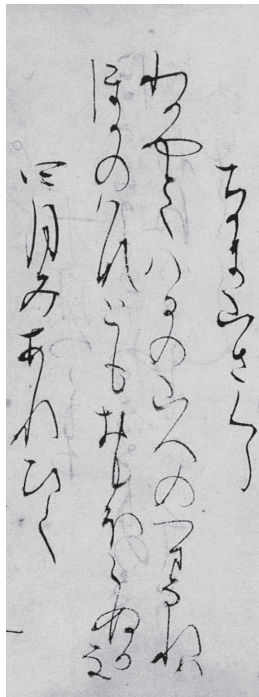
登と 冬 佐 能 志 具
しんしんと寒さがたのしみゆく

【古筆参考】

しんしんと寒さがたのしみゆく
(星野立子)
【句解】寒さがしんしんと身にしてみる。しかしその寒さこそが私には楽しくて、ずんずん歩いて行くのだ。
【鑑賞】高浜虚子の次女。立子の句はまさしく幼児のごとく素直であり、その表現は平易。そして「しんしんと」にみられるような擬声語・擬態語が多い。それはまた、彼女のいい意味での幼児性の表れでもある。へうつ伏せに風につつつつ落椿(おちつばき)などがその例である。

〔古筆参考〕

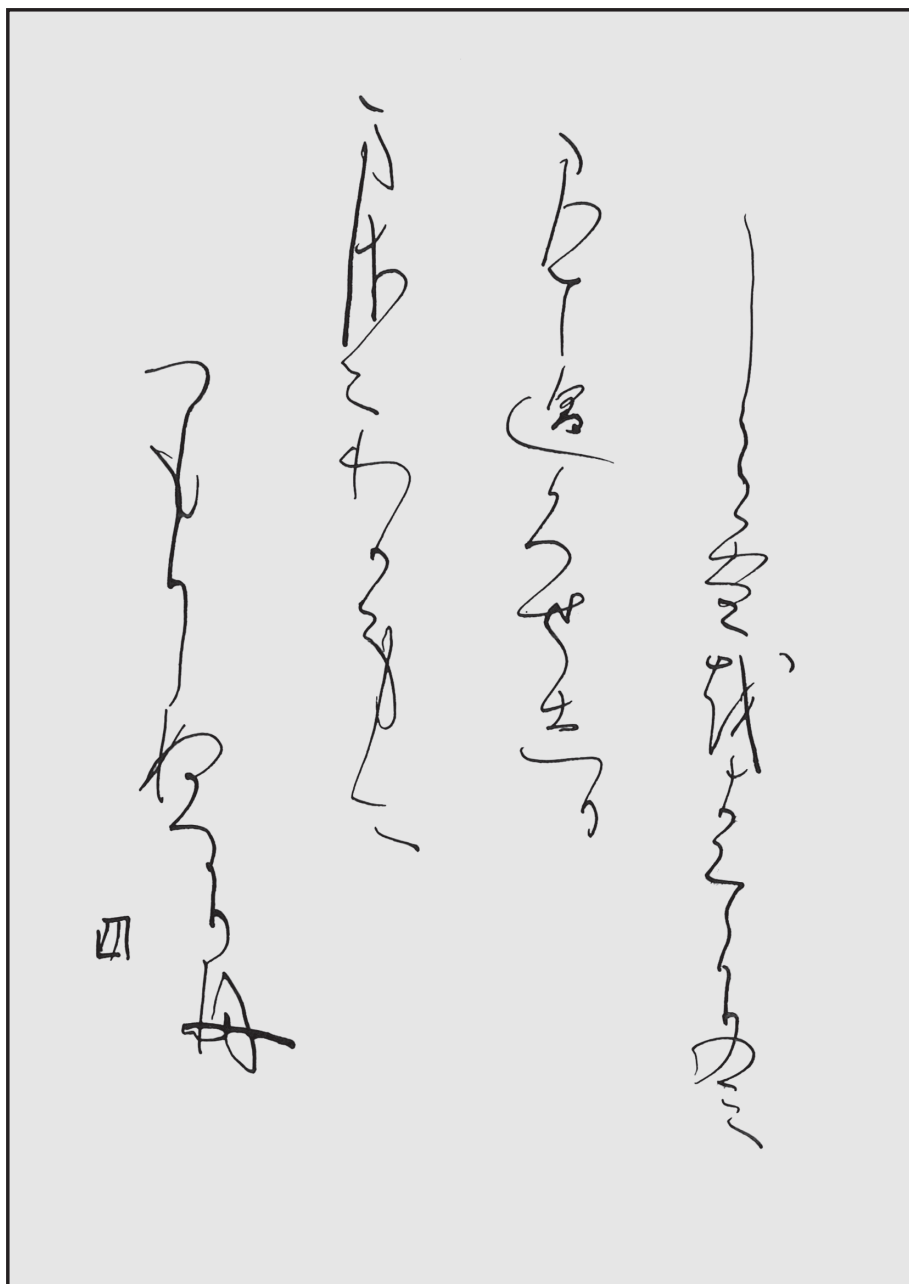
なかつかさしゅう
中務集



ちかき山ざくら
わがやどいはるの山べのつまなれば
ほかのはなとおもほえぬかな
四月みあれひく

締切り 十二月十九日（必着）

築瀬舟香書



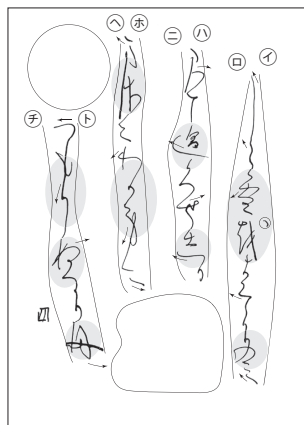
白雪をよそにのみ見て過ぐせしが
まさに我が身に積もりぬるかも

〔歌意〕 白い雪は、今まで自分以外の
世界のことと眺めて暮らしてきたの
に、まさしく自分の身に積もった（頭
の白くなった）ことだ。

〔出典〕 近世和歌集

（日本古典文学大系）

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、
①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、
①と⑪、①と⑫それぞれ呼応。

（）行のふくらみ

○余白

● 行の密の動き

◀ 線の指向性

それぞれ大切。

◆1月課題予告

山里は霞みわたれるけしきにて
そらにや春の立つを知るらん

締切り 12月19日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイディアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな年賀状をお待ちしています。

※手本は水性ボールペン使用

ついでに新春の
およろこびを申し上げます
昨年は大変お世話にな
りました。本年もよろこ
び申し上げます
令和五年元旦
松野梅子

ついでに新春の

およろこびを申し上げます

昨年は大変お世話になり

ました。本年もよろしく

お願いいたします

令和五年元旦 (ご自分の氏名)

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

聖徳太子が制定した冠位十二階は、
朝廷での席次を示した最初の制度。

鳥取県岩美郡 氏 名

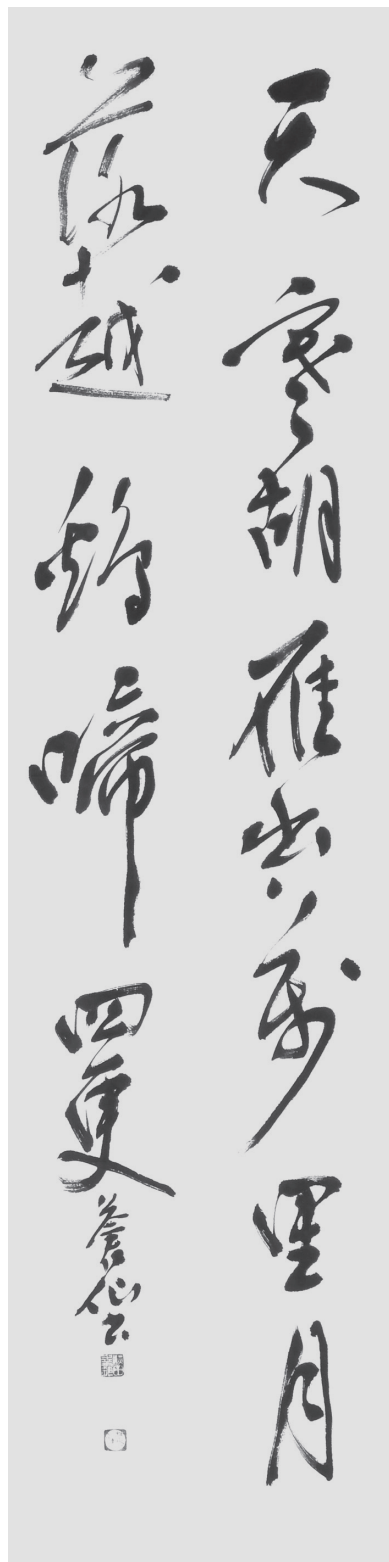
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月十九日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



天寒く胡雁出ず。千里月。

夜沈み越地の鶏啼。四更。

載表元

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕天寒く胡地の
雁は万里の遠きを出て
月は沈み越地の鶏は夜
明けを告げる。

今年も押し迫りとりわけご多忙の

こと、存じます。心慌たぐ

なり忙しく毎日ですがご自愛の

ほどお祈いしつげます

和泉志保

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕

何枚か書きましたが、平凡ながら最初の一枚が
手本としてはよいかと思ひ選びました。前回の単
体を意識して一文字、二文字、三文字と続けて字
間の変化を試みました。

今年も押し迫りとりわけご多忙の
こと、存じます。心慌たぐ
なり忙しい毎日ですがご自愛の
ほどお願い申し上げます

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位〜5等）は、評価により毎月かわり
ます。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)

澤 幸寿書

山静似
太古

やましず
山静かなること太古に似たり

〔大意〕山は静まりかえって、大昔のようだ。

〔解説〕

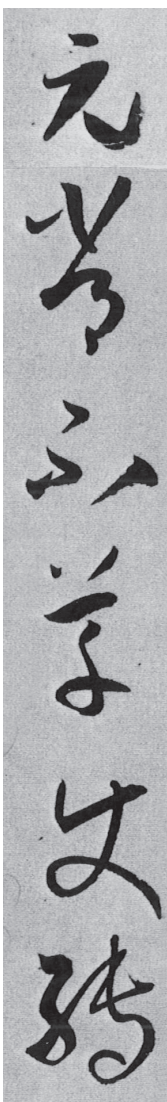
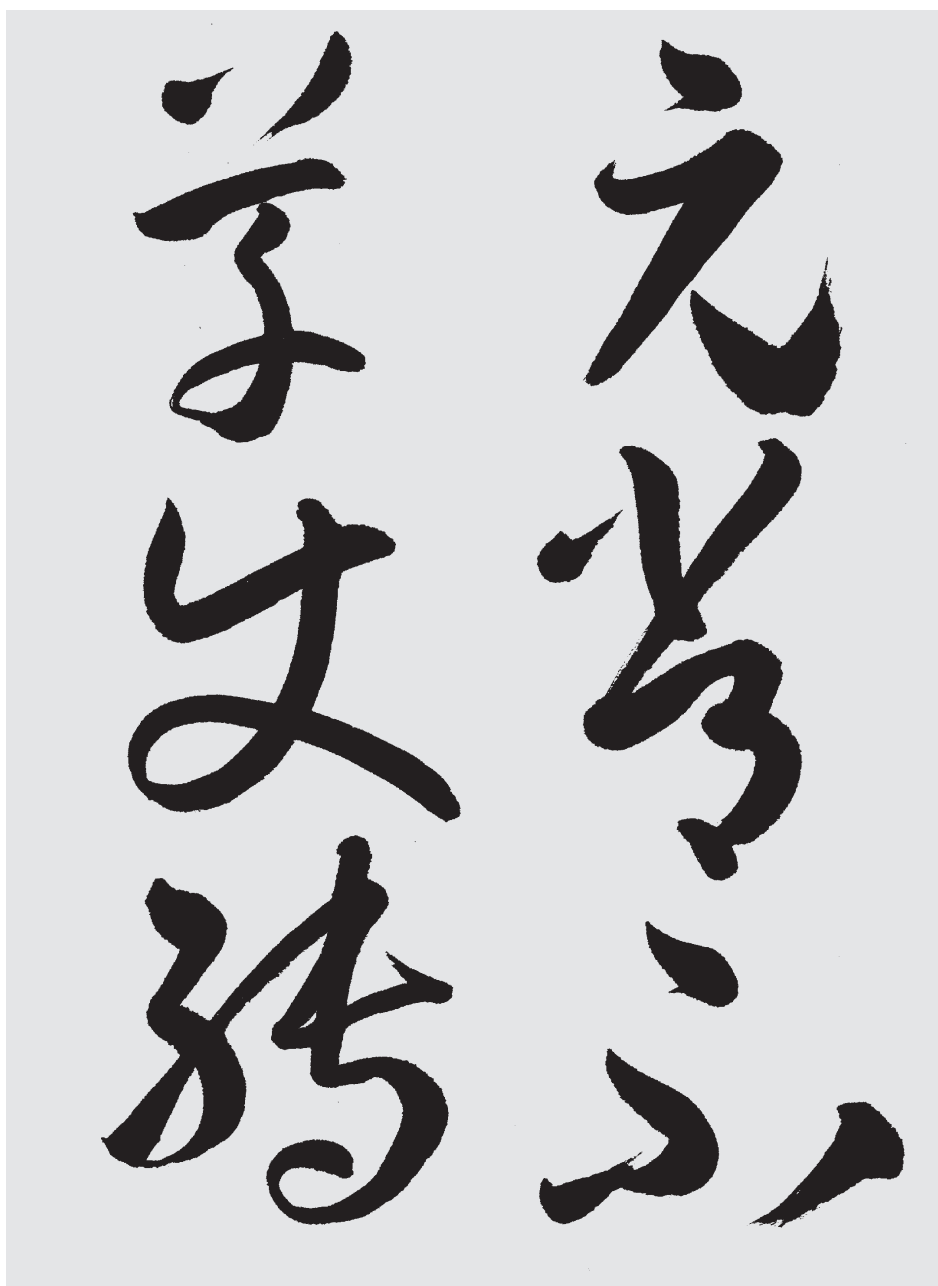
山 静 似
太 古

◆1月課題予告(楷書)

天正開
景祚

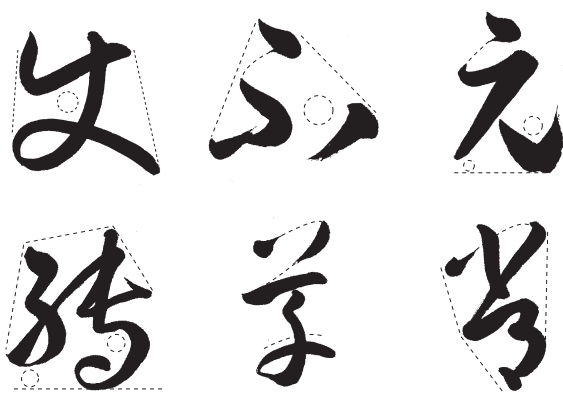
準初段から師範まで

須田一葉臨

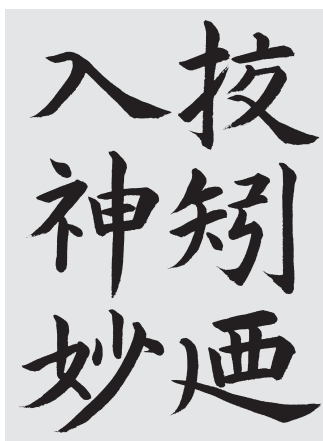


元
常
不
学
转

〔出典〕書譜
〔筆者〕孫過庭（六四八？～七〇三？）
〔読み〕元常は草ならずして、使
転は（從横たり。）
〔解説〕



◆1月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書

※検定試験1級コースを兼ねる。

苔の上ひとつひとつの散り紅葉

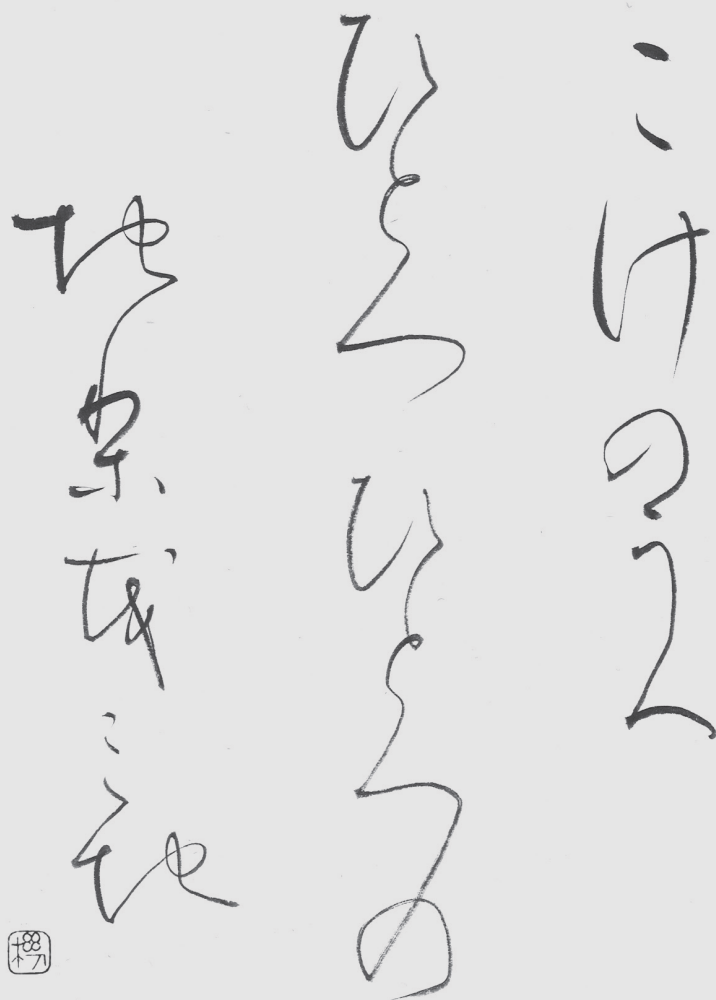
長谷川素逝

〔句意〕

苔の上に一枚一枚散った紅葉が、重なることなく置いてある。京都の名園の景である。色彩豊かな句。

◆1月課題予告

書初や難波津のよしあしくとも



〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

行頭と行尾の位置を捉えます。

上5は、単体、単体、3字連綿。

中7は、3字連綿、4字連綿で上から下までの長い1行を作ります。

下5は、墨継ぎし、力強く、2字連綿、単体、2字連綿。

第1行の行頭と第3行の行頭の高さを逆にして、どうバランスを取るかやってみてください。

さて1行ずつ見ていきましょう。

「いけのうへ」

「い」の点は、上空から振り下ろして、太鼓を叩くように点を打ち、上空に舞い上がります。1つの点を打った瞬間、力が周囲へばーっと広がるような感じですね。こうすると点に奥行きが出て、小さくても存在感が出ます。

「け」は、左右のタテ線が〈呼応〉する感じがします。左がゆっくりなら右は速く、左が速ければ右はゆっくりで、必ず変化をつけます。

「ひとつひとつの」

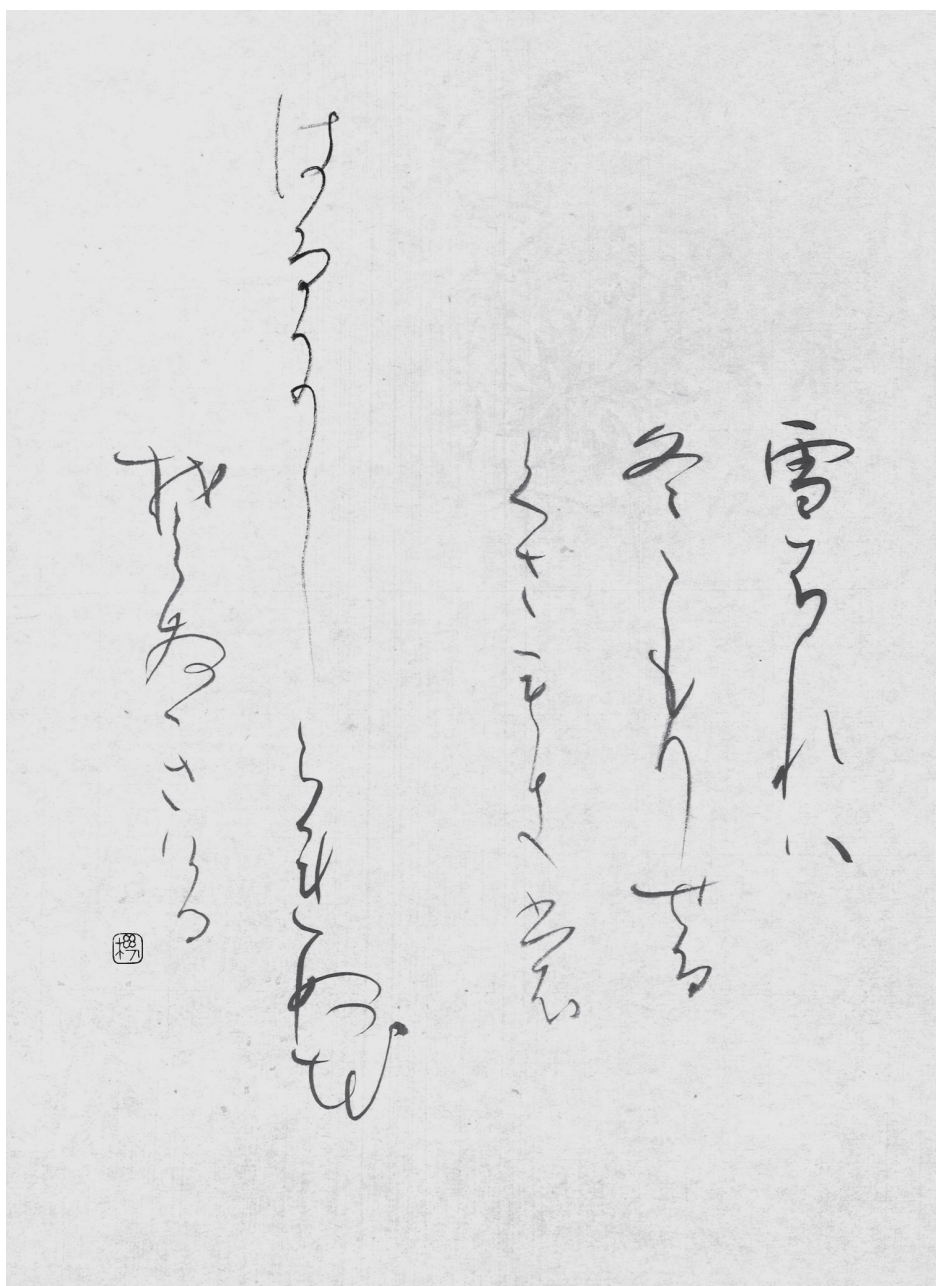
「ひとつ」は、2つ書いていますが、ほとんど同じように書いていいです。ただ、下は、「ひとつ」と「の」への連綿があります。途中の〈間〉の広さも大切です。

「地梨茂三地」

ここで墨継ぎして、変体仮名を書きます。「地」は、突いてヨコ線、タテ線を書き、次に細く「梨」の第1画まで軽やかに。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

雪^ふれば冬^{ふゆ}ごもりせる草^{くさ}も木^きも

はるに知られぬ花^{はな}ぞ咲^さける

「古今和歌集6冬323」紀貫之

〔歌意〕

雪が降ると、冬ごもりをしていた草にも木にも、春には見られない珍しい花が咲いたことだなあ。

◆1月課題予告

朝日かげとよさかのぼる日の本のやまとの国の春のあけぼの

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

〈新料紙〉です。全体にベージュ色を刷毛で引いて、まだ乾かないうちに版木模様の上にのせ、馬連（木版刷りの際、版木の上に当てた紙の上をこする用具）でこすって模様を白く取っている、と思われる料紙の写し印刷です。全体にうすい色ですから、〈散らし書き〉は自由に書くことが出来ます。上の句（5・7・5）は、上から3分の1あけて3行の頭を揃えて書きまします。下の句（7・7）は、墨がかすれたまま4字書き、「ら」で墨継ぎして重く4字書き、最後の行は上の句に合わせて行頭を揃えます。

段の上位にある人は、揃った行頭の位置を、もっと上にしたりして位置を変え、〈散らし書きを変化〉させて仕上げてみて下さい。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「雪不れ八」

「れ」の第1画がスキリ下へ流れます。

「冬ごもりせる」

「こ」は、下の点は連綿して「も」の第1画へつないでいます。

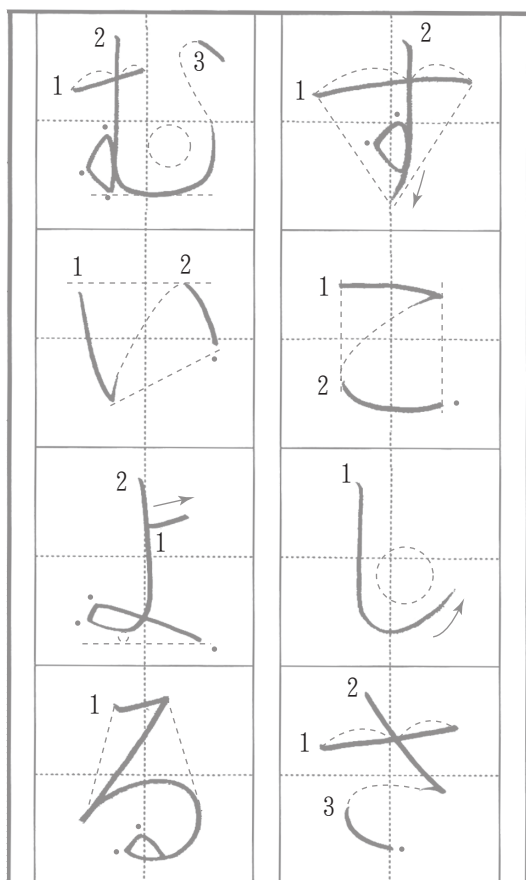
「くさ毛支裳」

右の「雪」「冬」と、「く」は、だんだんスキリして左への動きが出ています。

「はる尔しら連ぬ花」

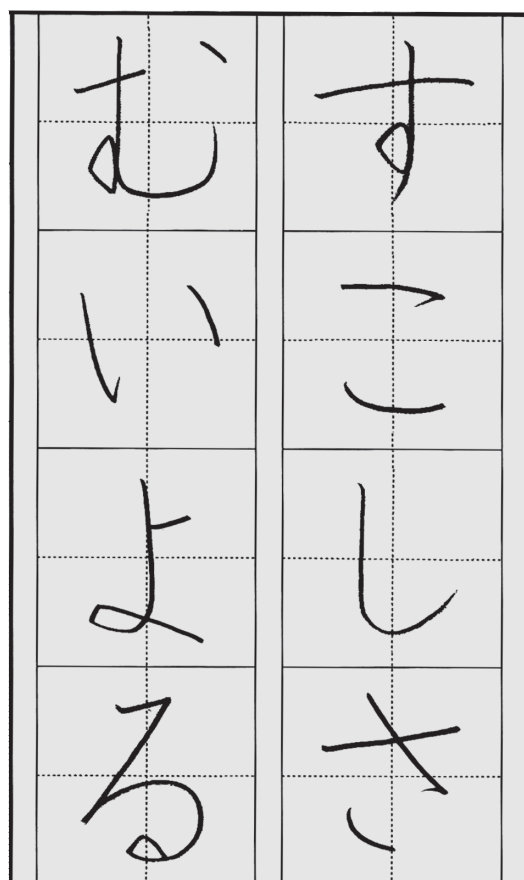
「ぬ花」で大きく全体を受けています。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



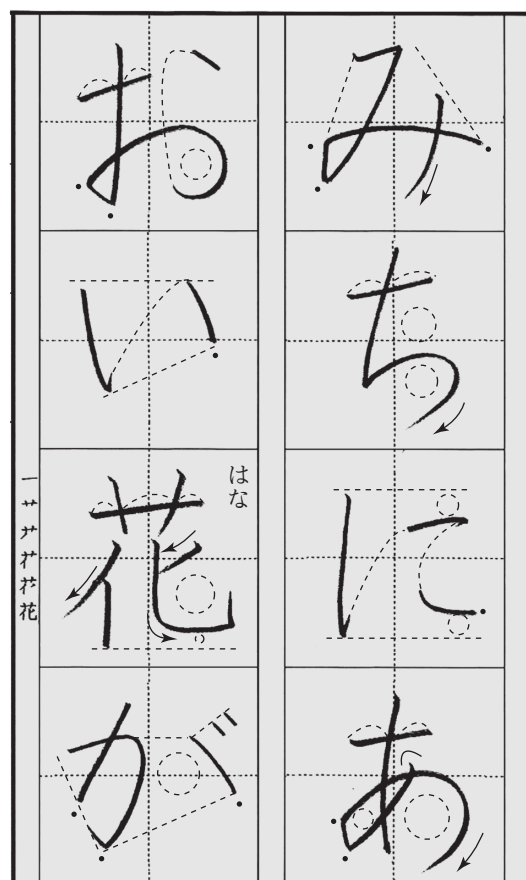
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



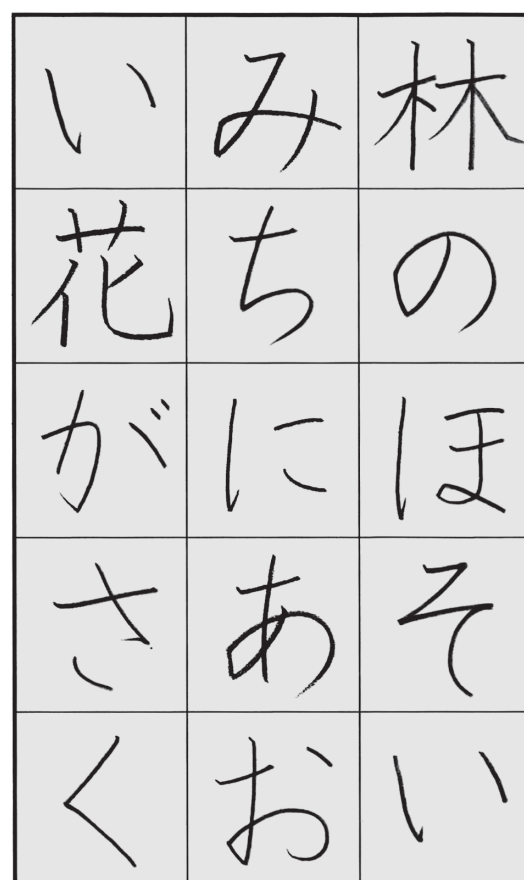
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

を	紙
見	し
る	ば
ね	い

新入〜1級

い	ち	公
を	と	園
見	紙	で
る	し	友
ね	ば	だ

準初段以上

小二年

準初段以上

青	冬
木	休
県	み
へ	は

新入〜1級

ん	森	冬
へ	県	休
行	の	み
く	温	は
よ	せ	青

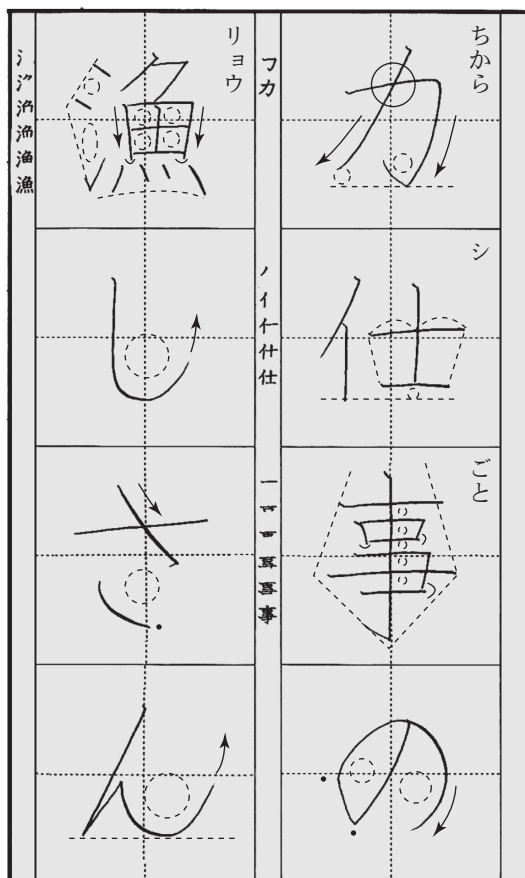
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

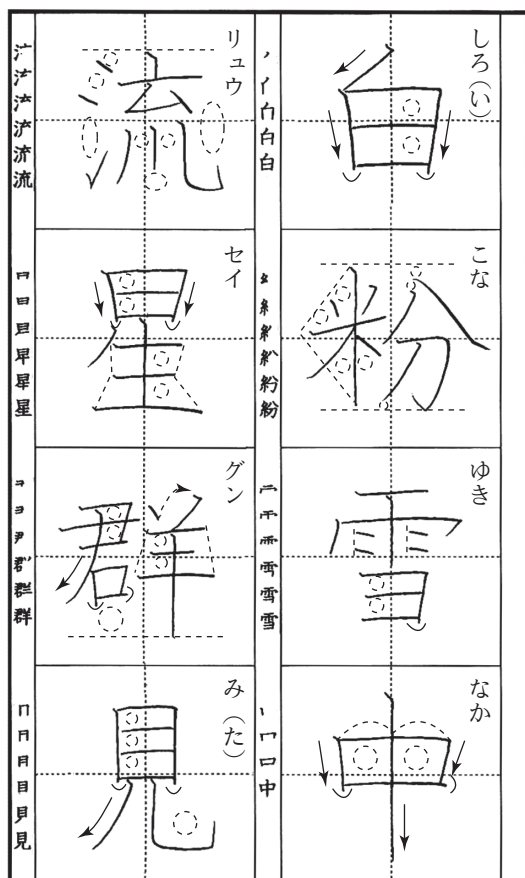


新入1級

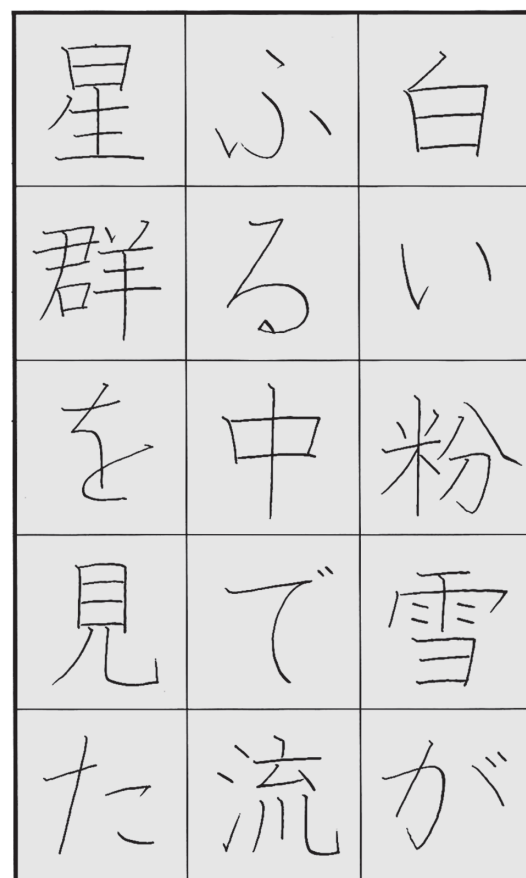


小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)



小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具〉自由(黒色に限る)

マ 間 間 間 間	マ 優 優 優 優	すぐ(れた)
ちか 近 近 近 近	シヨク 職 職 職 職	
ケン 見 見 見 見	ニン 人 人 人 人	
ガク 学 学 学 学	わざ 技 技 技 技	

解説(よく見て習いましょう)

で	の	優
見	技	れ
学	を	た
し	間	職
た	近	人

小六年

(全員)

し	映	授
感	画	業
想	を	で
書	鑑	歴
く	賞	史

中二・三年

(楷書)

で	を	水
ス	持	彩
ケ	参	色
ツ	し	鉛
チ	外	筆

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題

かん 野 しゅん こう 書
神 の 春 紅

※今年・一日＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

一	遊	今	お	明
月	ぼ	年	め	け
一	う	も	で	ま
日	ね	い	と	し
		っ	う	て
名		し		
ま		よ		
え		に		



しめきり 12月19日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

なる せ ゆう か 書
成 瀬 有 華

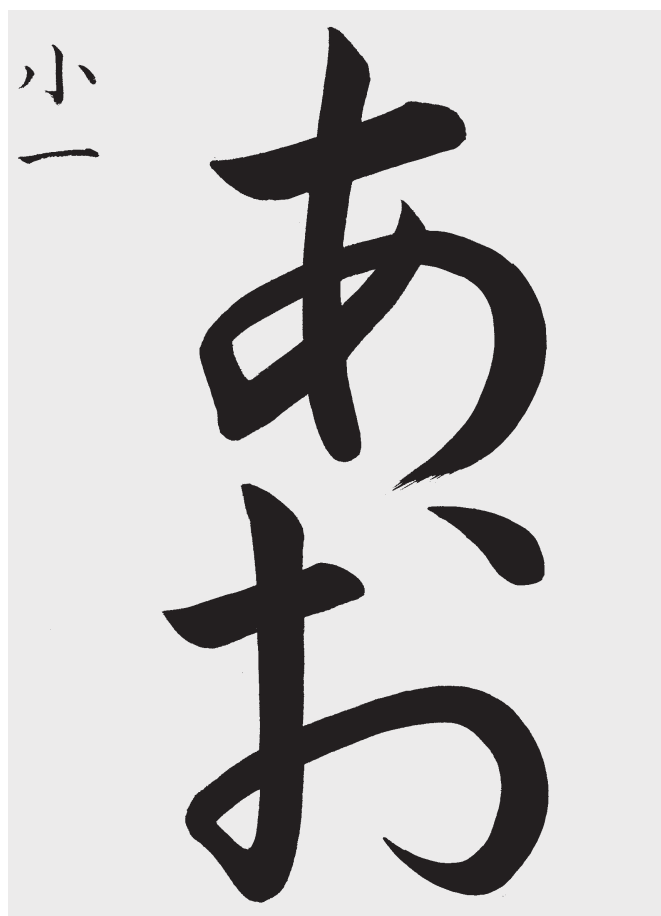
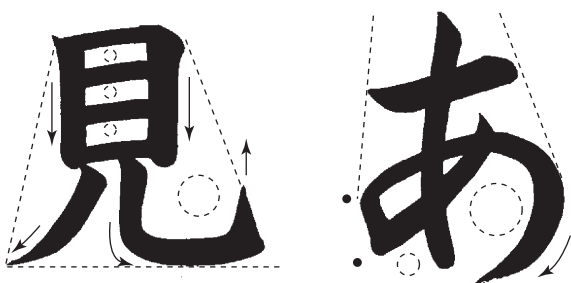
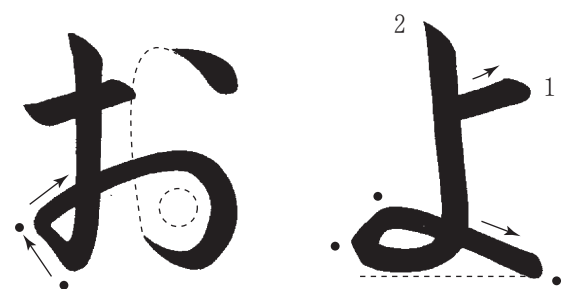
				賀
元	申	ご	本	
旦	し	指	年	正
	上	導	も	
氏	げ	を	ろ	
	ま	お	し	
名	す	願	く	
		い		

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





小五
粉白
雪い

み冬
小三
休

中心
事 冬
粉 休
雪 仕

事力
小四
仕

小三・小五年
水野碧友書

中二・三
鑑映
賞画

小六
の職
技人

小六・中二・三年
玉樹小華書

中心
参
鑑
賞

職
技
筆

中一
持鉛
参筆

第83回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和四年十二月十九日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)
※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

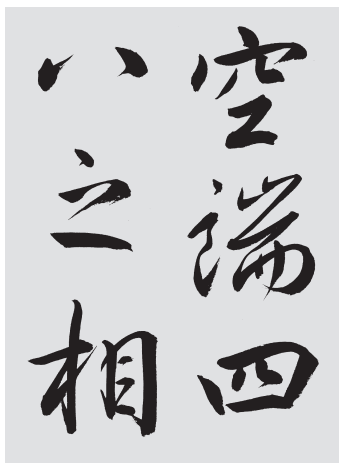
漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	条幅	細字	教育部
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、四〇〇円	三、八〇〇円	二、〇〇〇円
九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	九〇〇円	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,100

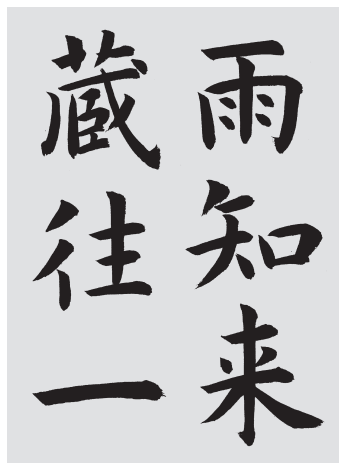
〔三段コース漢字課題〕

《集字聖教序》



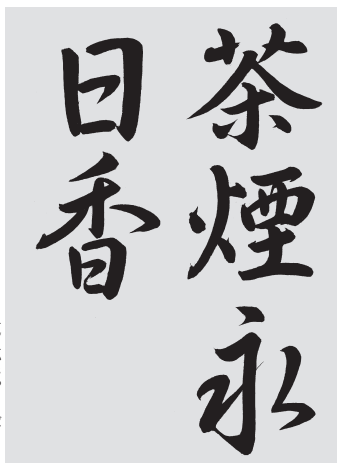
神谷葵水先生臨

《孔子廟堂碑》



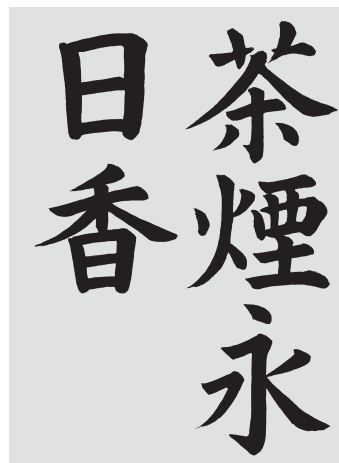
茶煙永日香し
さいえんえいじこうば

《行書》



澤幸寿書

《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

課 題 コース	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受 験 料
				楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段 者	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範 有 段 者	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範 書 支 局・支 部 長	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題								1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）								2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

「五段・書範・教範コース課題」

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

以 貫 之 但 否 泰

▼集字聖教序

於 是 微 言 廣 被

▼書 譜

雖 權 以 此 辭 折

■かな 三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎雪ふれば冬こもりせる草も木も
はるに知らぬ花ぞ咲きける（紀貫之）
※9頁参照

■条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

人 君 信 而 号 令 成
人 臣 信 而 邦 家 榮

■細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

今年こそは大詰めで慌てたりする
ことがないように そろそろ家の
大掃除を始めようと思っています
年末をゆとり過ごしませます様に

■教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 そば

小 6 天 予 報 氣

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

■会友コース課題

特技

（行 書）

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとして出品のこと。